

持続可能な地域社会プログラム連続セミナー#4

本セミナーは、持続可能な地域社会を創造していく上で必要な官民間のパートナーシップのあり方と公民連携の実践を学ぶことを目的に、国、自治体、民間企業から講師をお招きして、全5回にわたり開催してまいりました。第4回目は行政部門の財・サービス提供のための公共調達をテーマに、三菱UFJリサーチ&コンサルティング社から大野様、馬場様をお招きして「公共調達を通じたイノベーションの促進」と題して講演を行なっていただきました。

2021.10.25

三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 経済政策部

大野 泰資 様、馬場 康郎 様

公共調達を通じたイノベーションの促進

持続可能な地域社会プログラム連続セミナーの4回目は、ここまでのPPP/PFIをテーマにした講義と若干異なって見える「公共調達とイノベーション」という主題です。しかし、公共調達は行政によって提供される公共サービスを生み出す基盤であり、その整備にあたっては官民双方の努力による効率性や透明性の向上が求められるという点で、官民連携によるPPP/PFIと根底では共通しているテーマです。

今回の大きな主題は「日本のイノベーション調達の高度化」ということでした。

過去、日本の公共調達（幅広く公共サービス提供の基盤整備）に関わる社会的課題は競争性や透明性をどのように確保するかにありましたが、競争性や透明性に加えて現代的な課題として「成長戦略」の実現に向けた「イノベーション」の促進に公共調達を活かすという視点についてお話いただきました。

まず初めにケースとして紹介されたのは「EU指令（Public Procurement Directives 2014/24/EU）による5種の公共調達」です。講義の中で示された「公共調達によるイノベーション促進」とは、社会的課題等の解決に向け公的機関が必要とするモノ・サービス等を調達する際に、1)公的機関のニーズがあり、市場に既に存在する新しいモノ・サービス等を **初期需要として** 調達する、2)公的機関のニーズはあるが市場に存在しないモノ・サービス等の **研究開発を実施** すること、のいずれか又は両方を組み合わせた方法によって「イノベーション」を促進させるということです。言い換えれば、公共調達が世の中にある「新しい芽」を積極的に採用するもしくは「新しい芽」を育てるということになります。

併せてEUにおける公共調達によるイノベーション促進の具体化にあたっての「ガイドライン」にみるイノベーションに適した調達手続きについてもお話をいただきました。そのポイントはここまでの3回の講義においてPPP/PFI事業の受発注に関する指摘と共通するものがあります。

市場に既に存在する新しいモノ・サービスの調達を想定する場合、発注者から最低限の要求事項（性能規定に近い）と落札基準や加点評価方法以外の要件について交渉をする「交渉手続」の採用の考え方、より簡素な要求事項が示される場合の事業者と行政の競争的対話という手続きがあります。これはPPP/PFIによる公的サービス提供でも同様の考え方が求められているものと思います。

また市場に存在しないモノ・サービス等の創造と調達を想定する場合、大規模調達を除いて商業化前

の調達、設計段階、プロトタイプの実験段階、最初のテスト製品の開発段階の中で研究開発段階に特化して、各段階とも（複数参加による）競争性・透明性・公開性・公正性が確保された調達を実施されながら行政と事業者の間でリスクと便益を共有されながら進めるという手続きです。これも PPP/PFI 事業に通じるものがあり、特にリスクと便益の設計と共有は PPP/PFI 事業を進める上で重要な原則です。

公共調達によるイノベーション促進として米国の SBIR (Small Business Innovation Research) 制度やイスラエルの研究開発型スタートアップ支援政策であるイスラエル・イノベーション・オーソリティ (Israel Innovation Authority) も紹介されました。

米国の制度は商業化のための研究助成金という意味合いが強い制度ということですが、イスラエルの制度はスタートアップが行う研究開発への資金供給であるとともに、成功すれば政府も利する制度(コンディショナル・ローン)という点が興味深かったです。

日本でイノベーション創造を促す「イノベーションチャレンジ」や「Urban Innovation JAPAN」という実証実験についても紹介いただきました。冒頭に「日本のイノベーション調達の高度化」が主題としましたが、改めてそれは手段であり目的は「日本の成長戦略」の実現ということです。

各国の取り組みを参考に国内のイノベーション促進と成長を促すための公共調達戦略や PPP/PFI 事業の推進が進むことを期待したいと思います。